

部長、事務長へ

この手紙は合規審査前の三月十八日(書)ります。
どんせ結果がいかでか行なうの"とても怖いです。人試
までにいろいろな事がありました。その時の自分の気
持ちを話したいと想ります。まおは約一年前、コロナ
のせいで学校や塾が休校になりました。私は内び、喜
んでいました。友達と遊べる、勉強しなくていい。やたー!
と。でも、学志舎は塾の営業を続けました。それを聞い
て私は、「他の塾が休むばう」と前向
きに向いました。そして、休校期間で中三のいスタート
を切ることができたのである時、塾の営業を続けくれて
いたに感謝します。次に夏アロ。コロナの休校のせいで、

夏休みが短くなりました。学校の後に塾に行く日々が続いて疲れなのか、毎日頭痛に襲われました。でも、

誰より元気な両親や共に乗り越えた中三の仲間から過激な夏プロを乗り越えられました。冬と一ヶ月に冬がやっと冬プロが始まりました。冬プロは夏プロの2倍、3倍からかにひす。頭痛がこころか倒れ立たない。ですがある日、学志舎の卒塾生がいながらまじで。その卒塾生の中の一トビ加納高校に入てビリからトップにのぼりつめた女性の方に出会いました。その方に会って私も二の方のようになんばう。と強く思いました。冬プロの前に学年未テストの対策など

受験勉強をどう両立したらいいかとしつこく聞いたの
を覚えていますか。あの時の自分は本気で悩んでいて心
が雨でした。でも、相談したおかげで心が晴れました。

学年末テストの結果は中間テストより三十点ほど下
がりましたが百ペーパーで大満足でした。
学年末テストの次は私立入試。どれだけ高い壁が
和を襲うのか、それとも私は本気でした。私立入試
の過去問を解くと、平成二十八年の数学は十点ほど
でした。泣きました。こんな自分が悔しくてコチをつかまえ
て泣かなければ所を徹底的にぶしませた。ひとつとか五
年分をやり切り、達成感がありました。私立入試

当日。私は八階で受けました。入試が無事終り、
八階から一階まで階段で降りて校門まで歩き
行く人の人をかき分けながら自転車で家まで帰った
ことが印象的でした。結果は、合格。安心して公立
入試に臨むことができることもうれしかったです。
いよいよ公立入試に向けての準備。私の中ではこの時期
が一番つらかったなと思います。公立の過去問、フレ
入試、岐阜県入試大図。四百点を下回るところが
多く、心が折れていまいりました。入試本
番の二週間前のサマセス講座。ここに乗り越え又
こいで走れば、高校、大学、社会人にばんび乗ります

越えられぬ。最後の最後、がんばろう。と塾長が私にち
（二）言いました。この言葉が私の自信（二）較差があり、ラスト
二週間は自分の限界を越えました。ラスト一週
間。体調をくずしました。大切な土日がつぶれてしま
ってすこく悔しかったです。幸い、体調は回復し今まで通
りに勉強でますようになりました。三月三日、入試当
日。万全な体調で臨めたのが何よりもうれしかった
です。三月三日の自分は最強で、どんな問題も解
けますよう気付きました。ここまで成長できた自分
（二）今までの涙とほんがわ涙が帰りの車であられまし
た。こんなに成長できたのは学校と舍と両親のお

ありがとうございます。本当にありがとうございました。
もう少しあがりこぎます。

二〇一一年三月十八日